

適用規格		MIL-STD-348B			
定格	使用温度範囲	Δ -55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-20 °C ~ +70 °C (90 %RH以下)	
	電力	-- W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ 30 GHz)	
	特殊性	----	使用ケーブル	----	
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		-	-
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 6 mΩ 以下 外部コンタクト 6 mΩ 以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○
	耐電圧	AC 500 Vの電圧を1分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0 ~ 30GHzにて測定する。	V. S. W. R. 1.5 以下	○	-
	挿入損失	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	--- dB以下	-	-
機械的性能	単体挿抜力	φ の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	-	-
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。 [適合コネクタ: SMPJ-HKJ]	挿入力 45 N以下 引抜力 9 N以上	○	○
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 12 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐振性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で3軸方向各10サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸方向各3回試験する。		○	-
	ケーブルクランプ部の引張り強度	- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が発生するまで引張り, 最大荷重を確認する。	最大荷重 -- N以上	-	-
環境的性能	温湿度サイクルの耐湿性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に10サイクル(240時間)放置する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ 以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	温度サイクル	温度 -55 → - → +125 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を5サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48時間放置する。	V. S. W. R. 1.5 以下 [0~30GHz]	○	-
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	1	DIS-D-00003210	TK. SAWAGUCHI	KY. SHIMIZU	18.06.07
備考			承認	TO. KATAYAMA	18.03.20
RoHS適合品			検図	KY. SHIMIZU	18.03.20
注 ① 基板実装後の性能となります。			担当	TK. SAWAGUCHI	18.03.19
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512を適用している。			製図	TK. SAWAGUCHI	18.03.19
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番 SLC-373488-01-00		
HRS	製品規格表		製品名		SMP-PR (LD) -SMT-1 (01)
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL338-1103-0-01
				△	1/1